

古賀委員提出意見

○ p.3「社会教育の推進方策について」

「また、首長部局、学校、地域運営組織（RMO）、NPO、企業等の多様な主体と連携し、地域づくり、防災、福祉、多文化共生等の幅広い分野に社会教育の考え方や手法を生かしていくことが必要。」について

意見：多様な主体との連携を進めるに当たっては、それぞれの主体の資源やニーズを把握し、主体間をつなぎ、対話や協働を支える中間支援機能も重要と考えますし、そうした議論も重ねてきた印象です。リカレント教育については、産業界や地域との連携を促すコーディネーターの重要性が示されており、社会教育・地域づくりにおいても、分野や組織を越えた関係形成や協働を支える機能の必要性を明記してはいかがでしょうか。

修正案

「また、首長部局、学校、地域運営組織（RMO）、NPO、企業等の多様な主体と連携するとともに、これらの主体間をつなぎ、対話や協働を支えるコーディネート機能や中間支援機能を生かしながら、地域づくり、防災、福祉、多文化共生等の幅広い分野に社会教育の考え方や手法を生かしていくことが必要。」

○ p.2「生涯学習としての多面的な価値」

「リカレント教育を産業界の人材ニーズへの対応や職業能力の育成のみに限定せず、健康・生きがい、個人のウェルビーイングやキャリア形成、社会参加、地域課題解決、異世代交流等につながるものとして捉えることが重要。」について

意見：リカレント教育を産業人材育成のみならず、社会参加や地域課題解決につながるものとして捉えるという視点を付加されたことに、席上で意見した者として感謝いたします。リカレント教育の主な主体として位置付けられている大学等・企業・個人に加え、自治体、NPO、地域コミュニティ等についても、学びの機会や実践の場をつくり、学習成果を地域・社会につなぐ主体として位置付ける視点があってもよいと考えます。

修正案

「リカレント教育を産業界の人材ニーズへの対応や職業能力の育成のみに限定せず、健康・生きがい、個人のウェルビーイングやキャリア形成、社会参加、地域課題解決、異世代交流等につながるものとして捉えることが重要。その際、大学等や企業

のみならず、自治体、NPO、地域コミュニティ等の多様な主体が、学びの機会や実践の場を提供し、学習成果を地域・社会につなぐ役割にも着目することが重要。」

○ p.4「社会教育主事・社会教育士について」

「社会教育主事・社会教育士については、養成課程・講習の改善、実践機会の確保、資格取得後のフォローアップ、ネットワーク形成、行政・企業・NPO 等での活躍機会の拡大を一体的に進めることが重要。」について

意見：地域では、社会教育主事・社会教育士に加え、NPO、中間支援組織、RMO等の多様な実践者が、住民の学びや対話、参加、協働を支える役割をすでに一定程度担っています。資格制度の内外に存在するこうした人材も社会教育の担い手として捉え、社会教育主事・社会教育士とのネットワーク形成や相互の学びを促す視点も議論を通じて浮き彫りとなっていた印象ですので、これを明記してはいかがでしょうか。

修正案

「社会教育主事・社会教育士については、養成課程・講習の改善、実践機会の確保、資格取得後のフォローアップ、ネットワーク形成、行政・企業・NPO 等での活躍機会の拡大を一体的に進めることが重要。併せて、NPO、中間支援組織、RMO 等で社会教育につながる実践を担う多様な人材とのネットワーク形成や相互の学びを促進することも重要。」